

令和4年度全国学力・学習状況調査から見てきたこと

4月に6年生を対象にした全国学力・学習状況調査が実施されました。個人の結果については各ご家庭に9月下旬にお渡ししましたが、今回は本校の結果概要と今後の学校の取り組み等についてお知らせします。

国語 ほとんどの問題の正当率が全国平均を上回り、よくできています。

中でも、知識・理解（言語・言語文化）は8ポイント高く、思考・判断・表現においては「書くこと」が19ポイントも上回っています。「読むこと」については、6ポイント低く、課題です。

本校では、数年にわたり、国語の「書くこと」をテーマに教育研究を重ねており、その成果が現れたと言えます。そして、今年度は昨年の研究の反省から、「読むこと」に着目して研究に取り組んでいます。その授業研究をもとに、今年度は全校で統一した授業方法を取り入れ、課題を克服するようにしています。また、国語のカリキュラムを見直し、全校で系統立てて「読み」の学習を進めているところです。

算数 ほとんどの問題の正答率が全国平均を上回り、よくできています。

中でも、図形が6ポイント高く、よくできています。また、これまで本校の児童が苦手としていた記述式の問題も6ポイント上回り、よい結果でした。

算数の授業は、専科の教員と担任がチームティーチングで行い、具体物や体験活動を取り入れて、日常生活に結びつき、応用ができるように工夫しています。今後もこのように研究を進め、楽しい授業づくりを継続していきます。

理科 ほとんどの問題の正答率が全国平均を上回り、よくできています。

中でも、「エネルギーを柱とする領域」は10ポイント高く、よくできています。

課題は「情報を他者の気づきの視点で分析して自分の考えを記述する」問題で、平均より27ポイント低くなりました。この課題の克服のためには、実験・観察をもとに子ども同士で話し合い、問題を探求する活動を重ねることが望まれます。

今後も多くの実験や体験活動を大切にしつつ、グループでの話し合いを通じて問題を探求する活動を取り入れた授業づくりに取り組んでいきます。

質問紙（アンケート）

○教育コミュニティ・・・「地域の行事に参加している」割合が全国より30ポイント高く、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えている」割合も25ポイント高いです。地域の方に支えられ、自分たちも郷土を大切にしたいという思いが育っているようです。

○タブレットを使いこなしている・・・「ほぼ毎日タブレットを使って学習している」割合が全国より50ポイント高く、普段から機器に慣れ親しんでいるという結果でした。本校では1年生の1学期からタブレットを使用し、緊急時にはオンラインでも対応できるようにしています。今後も使用上の注意点も含め、学習で積極的に活用していくようにします。

○仲間と共に学ぶ・・・「困っている人を進んで助ける」「自分と違う意見について考えたい」の肯定的な割合が88%、76%と高く、友だちを受け入れる姿勢が見られるのは喜ばしいことです。今後も人に対する思いやりを大切にしていきます。

○読書が少し課題・・・読書が好きだと答えた割合が58%で、全国平均より14ポイント低くなりました。学校図書館に、子どもの興味に沿った新しい資料を充実させ、読書を奨励するようにします。

